

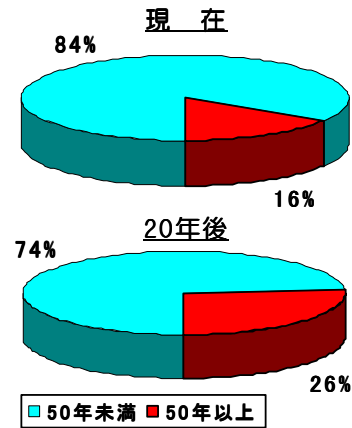
宿毛市 橋梁長寿命化修繕計画(平成20年度版)

背景・目的

宿毛市では、身近な生活道路における小規模な橋梁から、200mを越えるものなど、平成21年3月時点で369橋(台帳上)存在しています。これらの中には、劣化や損傷の見られるもの、老朽化の目安となる「建設後50年」を経過する橋梁もあり、近い将来、適正な維持管理を行わなければ老朽化による突発的な事故が発生し、膨大な補修費用や長期間の通行制限による社会的損失が発生することが懸念されます。

そこで、これまでの壊れてから補修する事後的な対応から、計画的かつ予防的な対応に転換を図り、橋梁の長寿命化と補修費用の縮減を図ります。

建設から50年を超える橋



今後、老朽化橋梁はますます増加します

維持管理

宿毛市では、橋梁の点検を国土技術政策総合研究所の『道路橋に関する基礎データ収集要領(案)』に基づき実施し、橋梁の健全度を確認します。

【損傷事例】



鉄筋の露出



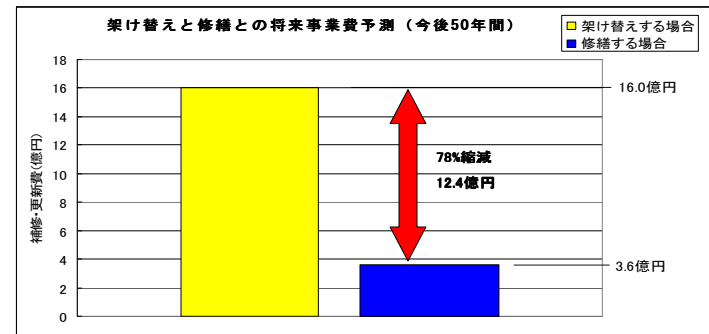
コンクリートのひび割れ



支承部の腐食

効果

宿毛市では、有識者に意見を伺いながら、平成20年度に修繕の対象となる17橋に関して、今後50年間に必要とされる費用を予測し、長寿命化修繕計画を立案しました。橋梁の老朽化の目安となる「建設後50年」を迎えるまで補修を行わず架け替える場合、総額16億円の修繕費用が必要となります。早め早めに補修する場合、修繕費用は総額3.6億円となり、今後50年間で約12.4億円、78%のコスト縮減が見込まれます。



計画の策定

		市道
全管理橋梁数		369
うち計画の対象橋梁数	うちこれまでの計画策定橋梁数	0
	うちH20年度計画策定橋梁数	17
	○長寿命化修繕計画の対象: 宿毛市の管理する全ての橋梁を対象として、平成20年度は橋長L=15m以上の橋梁について行っています。	

意見を聴いた学識経験者

今回の計画策定に際しては、

高知工大 社会システム工学科 那須 清吾 教授

より、助言を頂いております。

【補修例】

ひびわれを早い段階で補修損傷の進行を防ぎ、工事費を抑えコストの縮減。



ひびわれが発生した橋梁。



ひびわれの補修を行います。